

復興研究会報告

No.35 (令和3年度 第4号)

発行
岩手県立大槌高等学校
復興研究会広報班
小松光 金崎円花
齋藤李好 藤原橙矢
発行日：令和3年11月8日

第26回定点観測 9/23(木)



今回、2回目の定点観測で、安渡はあまり変化がないように感じたが、語り部さんのお話を通して安渡という町がどう復興したかを知ることができた。ただただ定点観測をして残せばいいのではなく、どんな人たちがどのようにしてきたから復興ができたかという経緯を知ることだ。ただの写真ではなく、記録、記憶として残るのだと定点観測の本質を学べた日だった。語り部さんのお話を無駄にしないように、私たちが受け語り継いでいきたい。

3年女子

今回は、いつもの定点観測とは違い、赤崎先生が震災前の大槌についてお話ししてくださりました。今の大槌と震災前の大槌の様子を知って、改めて全く前の大槌とは違うと感じました。定点観測であまり変化を感じられませんでした。これから、もっと大槌町が復興していけると思いました。震災前の大槌について、もっと知りたいたいと思ったので、身近な人たちにも聞いてみたいと思います。

3年女子

今回は初の赤浜の定点観測に加え、神田さんから震災の詳しい話を聞いた。震災当時の話を写真を交えて説明していただきわかりやすかった。赤浜の防災の状況を知ることができ、定点観測をするだけではわからないことまで勉強することができたと思う。初めて赤浜を歩いてみて新しく建てられた家や公民館が増えてきていて復興の形が見えてよかった。次回も参加し復興の形を写真に収めていきたい。

3年男子



今回、初めて定点観測の活動に参加してみて、昔の写真と今の写真を見比べたり、町を歩いたりした結果自分が知らないうちに大槌町はこんなにも変化しているなと感じた。木下さんに被災直後の写真を見せてもらいあの状態からここまで復興させるのはとても大変だと感じた。今後は、町の変化にもう少し意識を向けて過ごしていきたいと思う。

2年男子

これで2回目でしたが、震災当時のお話を語り部の方から聞いている時、町の人から「これから大槌町をつくってほしい」と言われました。この言葉を聞いて次回も参加したいと思いました。そして、このことから、三陸みらい探究で、これから大槌町を自分たちがどう変えていけるのかを考えるきっかけにもなったので、これから頑張っていきたいと思います。

1年男子



大雨や気象災害から身を守ろう 9/28(火)



今回の気象災害の学習で、自然災害から身を守ることの大切さを再確認することができました。「まさか」ではなく「いつか」の気持ちをもって、今後も生活していきたいと思いました。また、後半のゲームでは、その物事をその瞬間に決めることに難しさを覚える事ができました。いろいろな意見がでてきて、有意義な時間でした。

3年男子

私が住んでいる場所が50cmも浸水するという事に驚きました。常日頃からこのように防災について活動することは大切だと思いました。大槌町は湧水が豊富で水の町とも呼ばれているので、特に水害には気を付けなければいけないと思いました。また、私が住んでいる土地も土砂崩れが発生する可能性があるので土砂崩れにも気を付けたいと思いました。そして、水害はいつ起こるかわからないので、ニュースかアプリを見て注意して生活したいです。

3年男子

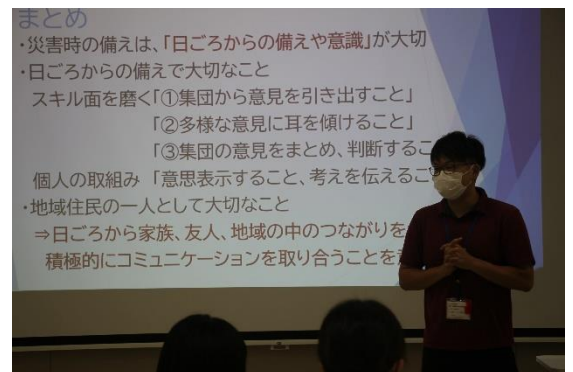


今回の水害や災害の話聞き、年間でどのくらいの被害があるのか、注意レベルなどを聞き、これからの災害に備えて今回教えていただいた事を家族に伝え、話し合う事を行い、実際に動けるよう対策を行いたかったです。また、クロスロードゲームで行った問題は実際に起こった出来事だと聞き、自分なりの考えや他の人の意見も聞き、もし自分がこのような体験をした時どのようにすれば良いかわかりました。

2年女子

私は今回、定点観測以外の活動に参加しました。定点観測では町の変化を見て記録する活動でしたが今回の活動では本当に災害が起きた時にどのような行動をすればいいかの判断を照らし合わせて活動できた1日でした。クロスロードゲームでは問題の中に本当に起きた出来事があったので、とても衝撃を受けました。最近地震も多いので防災グッズを用意していつでも逃げる準備をしておきたいと思いました。

2年女子



まとめ
・災害時の備えは、「日ごろからの備えや意識」が大切
・日ごろからの備えで大切なこと
スキル面を磨く「①集団から意見を引き出すこと」
「②多様な意見に耳を傾けること」
「③集団の意見をまとめ、判断すること」
個人の取組み「意思表示すること、考えを伝えること」
・地域住民の一人として大切なこと
⇒日ごろから家族、友人、地域の中でのつながりを積極的にコミュニケーションを取り合うことを



今回のイベントで大雨や気象災害から身を守ることの大切さと警戒レベルに合わせた行動の仕方など役に立つことをいろいろと学ぶことができたので良かったです。ゲームをしてみて自分の考えの違いや降水量1mで考えて50ミリでも牛乳パック50本分も量があることには驚きました。災害情報は気象庁のホームページで見ることができ、いわてモバイルメールやyahoo!防災速報アプリなどで聞き取れなかった放送内容を確認することができるとは知りませんでした。今回のイベントで知らないことを知ることができたので良かったです。

1年男子